

# 第14回福岡市産学連携交流センターセミナー



主催：福岡市、九州先端研ISIT

共催：九州大学未来化学創造センター  
西鉄ビルマネージメント(株)

日時：2009年11月24日(火)  
午後3時～5時20分

場所：福岡市産学連携交流センター

兼：第5回ナノテク先端セミナー、第2回産学連携先導プログラム、第45回未来化学創造センターセミナー



## 空と水と土と、そして私たち (その1)



15:00-15:15 開会挨拶と開催主旨

15:15-16:05 気象庁 気象研究所 第二研究室長 三上正男博士  
「黄砂・環境・人間社会のえにし(縁)と共生」



16:05-16:15 休憩

16:15-17:05 九州大学大学院農学研究院 久住高原農業実験実習場 後藤貴文准教授  
「輸入飼料に頼らない日本の草で育った和牛肉はいかがですか？」  
～ 環境適応型グラスフェッド牛草地放牧のインパクト～



17:05-17:20 まとめと閉会挨拶



**参加費 無料**

司会・進行：栗原(九州先端研)

### 開催主旨



豊かな土壌の形成、川・湖・海・大気の浄化や清らかさの維持など、広大な空間と長い時間にまたがる課題に関して、科学技術が効果的な解決策を生み出すには、まだまだ至っていません。例えば、砂漠を本質的に豊かな農地に変えること、光化学スモックを迅速に解消にすること、水域に広く分散してしまった廃棄物や有用資源を任意に再回収すること、などです。

今回は、黄砂研究のフィールド活動を通じて地球スケール・地球史スパンで自然の営みを観てこられた気象庁の三上博士、健康な食肉提供の視点から子牛の体質改善や草地放牧を通じた農業・環境・流通の革新に取り組まれている九州大学の後藤先生をお招きしました。

両先生のご研究の概要と豊かなご経験やトピックス等をご紹介いただくと同時に、各ご講演の後半には、冒頭で述べましたような観点から、先生方のご研究がどのような波及効果を可能性として秘めておられるのか、ナノテクをはじめとする科学技術に今後何を期待されるか等をご示唆願おうと考えています。

また、本セミナーを通じて、参加して頂ける皆様方が今従事されているそれぞれのお仕事に少しでも関わりそうな発想が得られること、地域産業(農業、モノづくり、サービス、そして第4の産業)の未来に向けてヒントになりそうな何かを得られることなどを期待しております。

## <交通アクセス>



## <会場近隣図>



## 【参加申込方法及び申込先】

会社名、所属・役職名、氏名、連絡先をご明記の上、下記申込書をFAX送信、もしくはメールで送信して下さい。  
お申込先 (財)九州先端科学技術研究所(九州先端研ISIT)事業部

- FAXの場合 : 下記の項目を記載し、このまま切り取らずに送付 → FAX:092-852-3455
- E-mail の場合 : メール本文に下記項目を記載して送付 → E-mail:koryu@isit.or.jp

|          |            |
|----------|------------|
| 氏名(フリガナ) | 会社名・所属・役職名 |
| TEL/FAX  | E-mail     |

《個人情報の利用目的》いただきました個人情報につきましては、本講演会の開催目的以外には使用いたしません。